

福岡県立大学同窓会会報

第23号

福岡県立保母養成所
福岡県社会保育短期大学

福岡県立保健婦養成所
福岡県立公衆衛生看護学

校
福岡県立大学

福岡県立看護専門学校



平成23年3月18日
卒業式

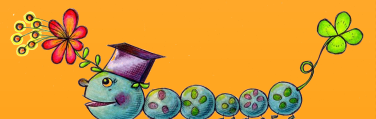


目次	頁
同窓会キャラクター紹介	1
新四役あいさつ 退任あいさつ	2-3
総会及び懇親会案内	4
当番期下見報告&幹事会報告	5
山本作兵衛の炭鉱画が世界記憶遺産に 社会貢献・ボランティア支援センターより	6-7
教員動向、20周年記念誌案内	8
秋興祭PR、サークル紹介、フリマ報告	9
みんなのページ、会員プロフィール、 慶弔情報	10-11
事務局よりお知らせ	12

福岡県立大学同窓会のキャラクター【イモムシ虫くん】

県立大学9期卒業生の『fucchiE』こと 淵上卓司さんがデザインしてくれたものです。どうぞよろしくお願ひします！

会報22号P10「イモムシ虫くん」何匹？
⇒⇒⇒正解は「44匹」でした。
会報23号には何匹潜んでいるでしょう。



四役挨拶



左から、郡谷副会長、川上会長、野口副会長、川口副会長

私たちにできること

同窓会会長 川上 鉄夫

同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃から同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

このたびの東日本大震災により、亡くなられた方々、また、被災をされました皆様に、心からの哀悼とお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今年は福岡市での同窓会総会開催の年です。総会では同窓会や大学の充実発展を目指した過去の事業報告と今後の事業計画の提案、情報提供のあり方などの協議を、また総会終了後には「今回の大震災の現状と望まれる支援」についてのシンポジウムを開催し、関係者からの現状や今後の課題等について報告等をしていただく予定です。

東日本大震災報道は、災害は他人事ではなく、私たちに何かを訴え、様々な行動を起こさせ、実際に現地での支援に従事した人、義援金や物資の支援をした人など形は異なりますが、私たち一人ひとりが出来ることを行動させたのではないかと思います。今後とも継続的な支援等が望まれているところです。

本学同窓会としても会員に呼びかけて総会会場等で募金活動を予定しています。既に募金をした人がほとんどだと思いますが、ご協力をよろしくお願い致します。

最後に総会に多くの皆様に参加され、同窓会会員の絆を一段と深め、同窓会や大学の充実・発展を再認識し、行動する契機になることを願っております。皆様の参加をよろしくお願い致します。

同窓会のみなさん、お元気ですか？

副会長 野口 久美子

東北地方を襲った大地震と津波、安全神話があつという間に崩れた原発事故。今も避難所で厳しい生活を強いられる沢山の人の生活を思うと胸がひきちぎられる思いで一杯です。多くの尊い生命のみこみ、未だ行方不明の方々を心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興をお祈りしています。

福岡県立大学の同窓会としての活動は、就任したばかりでまだまだ未熟ですが、川上会長の強いリーダーシップのもと、役員一同、けなげで優しい事務局のみなさんと共に力をあわせて頑張っております。今年度の活動目標として、保健師助産看護師法の改正に伴い、看護の基礎教育の充実と保健師、助産師教育の大学院化を目指して、今年度も昨年に引き続き名和田理事長に要望書を平成23年5月31日に提出いたしました。理事長は大変前向きで、教育にかける情熱と人材育成についての大切さを十分に認識されておられます。今後も同窓会として、同大学を全面的に支援していきたいと思っております。

同窓会のあり方として、先輩後輩をつなぎ、社会に貢献する高度職業人として、連携の輪を広げていくことと考えています。懸案事項となっております看護学部同窓会との一本化に向けても粘り強く関わってまいります。『継続は力なり』を信じて、日々小さな努力を重ねていく覚悟です。どうぞ皆様の絶大なるご指導ご協力を心よりお願いいたします。

最後に、私事ですが、平成23年3月31日に、水巻町役場を定年退職しました。同級生だった連れ合いとこれからの人生を楽しもうと思っていた矢先、平成23年5月9日に腹部大動脈破裂で、帰らぬ人となりました。あつという間の別れで、命のはかなさを感じる今日この頃です。皆様におかれましては、健康に留意され、お元気に一日一日を大切にお過ごし下さいませ。

幼稚園にて田植えを終えて

副会長 川口 克代

前日の大雨は嘘のような晴れの日、広い田んぼで田植えをしました。思いがけない子どもたちの集中した田植え模様でした。

こわごわ入ったヌルツとした田んぼで最後は腰までへたり込むように泥んこになりつつ植えきった満足した笑顔がありました。

地域の方々到手ほどきを受け励まされ、やりきった満足感を得た子どもたち。この満足感や自信、そして今後見守る稲穂の命の輝きをどれほど感じ、楽しみつつ、育てることが出来るかとワクワクしています。

県立大学同窓会の副会長として何が出来るのかわかり

ませんが、先輩や後輩と共に何か出来ることを見つけつつ務めさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

気が付けば20年

副会長 郡谷 忠士

先日、後輩の結婚披露宴に招待された。私にとってはしばしばあることなのだが、ギターを弾きながら一曲歌を披露することになり、かなり練習した。ライブなどをやっていた頃からは10年ほどのブランクがある。

今回結婚した後輩は私が学生時代にバンド活動をしていることを知っているの、とりあえず頼んだほうがいい、と私に気を使ったのだろう。しかし、そうは思ったものの、やるとなったからには頑張ろう、と思った。残業が続き、帰宅時間が夜遅くなり、練習時間もあまりなかったが、自分なりに頑張った。そして当日、心配だったのは、練習で一度もうまくいったことがなかった、ということ。

当日、歌の前に後輩の小話の一つ終え、歌に入る。出だ

しはまずまず。途中、一緒に口ずさむ方もいて楽しかった。そして、最後の4小節。やはり間違った。一番の盛り上がり部分で伴奏を間違った。参加者の友人らは、最後に落とすところを持ってこるところはさすが、と私に優しい言葉をかけてくれた。結婚した後輩も「ありがとうございます」と。

いつからだろうか。スリムパンツに長髪といった出で立ちで頑張っていた自分が、ハンサムで2枚目ではなく、どこかに笑いの要素を持ち込む3枚目を目指すようになったのは、お腹もメタボで立派になり、以前のシャツは首がキツくなり、スーツも買い替えが増えた。今回は狙った3枚目ではなかったが、その場が和んだのでこれでいいと思った。いい意味で納得できた。若い頃はそんな自分のミスが許せず、不機嫌になったりした。自分を、本当の自分よりも良く見せようとした。

気が付けば体重は2割増し、年齢は卒業時の2倍近くになった。同窓会に入ったときには一番若かった自分がもう40歳になった。年齢を重ね、マイナス要素も増えてきたが、これまで生きてきた自分を振り返り、「現在まで何とか苦しくも楽しい生活ができていないのか」と思い直し、一言つぶやく「これでいいのだ」と。

退任挨拶

県大同窓会の発展に願いをこめて

前同窓会会長 月脚 雅子



同窓会会員の皆様、元気でお過ごしでしょうか？第一線でご活躍の事と思えます。私はこのたび同窓会の会長の任期を終わらせていただきました。平成14年から22年まで4期、約8年の間会員の皆様をはじめ役員の皆様、事務局の皆様には大変お世話になりました。みんなで支えて下さったお陰で無事に勤めを果たすことができました。心から感謝申し上げます。

8年間の間に大きな出来事といえば、平成15年県大に看護学部が出来たこと。それに伴い、県立看護専門学校同窓会と合併し、8000人位(当時)の大きな同窓会になったこと、それから看護学部の第1回生が卒業と同時に急に「独自の同窓会を発足させます」と一方的に言われ、寝耳に水の感じで心を痛めました。大学側も随分説得して下さったり同窓会も何回も話し合いの場を持ちましたが、全く聞いてもらえなかった事が心の痛みとして残っています。卒業すれば多くの先輩方がおられる職場は心強い味方と思いますが…？私は県大同窓会はひとつになるべきだと思います。学部毎に横のつながりを作るのは自由と思いますが… これからの課題として会長さんに向かっに行けばと願っております。長い間ご協力ありがとうございました。会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。



退任の挨拶

前同窓会副会長 小河 信子



県立保健婦養成所卒の7回生です。県立看護専門学校を最後に平成13年3月閉校するまで、60年近い歴史があります。看護の高等教育をめざして取り組みが行われるようになり、県立大学に平成15年、看護学部として誕生したことは、嬉しいばかりでした。県立看護専門学校は閉校になったものの、同窓会の今後について検討され、県立大学同窓会への移行について申し入れを行いました。大学同窓会側のご好意により、平成16年4月からの加入が承認されました。看護学部の同窓生として卒業生を迎え入れ、職場で連携していく喜びも味わえることもあろうかと思いました。

副会長として同窓会の任務について間もなく、思いがけないことが起こりました。看護学部が独自に同窓会を立ち上げたのです。看護学部の代表者と、同じ看護職として共に協力していきたいと数回にわたり話し合いが行われましたが、独自の活動をしていくということで、理解し合えぬままでした。状況をよく理解していない学生もいました。卒業後、就職した職場に先輩がいたら心強いこともあろうかと思えます。今後とも協議され、よい方向に進むことを願っています。旧県立看護専門学校の同窓生は、県立大学同窓会の会員です。同窓会の、今後、益々のご活躍と発展を祈念申し上げます。「私事で退任することになり申し訳なく思っています。今は気強く、明るく、病気に負けないようにと日常を過ごしています」

第24回同窓会総会及び懇親会のご案内

期日：平成23年8月21日
10時～15時

場所：ANAクラウンプラザホテル福岡3階
(旧博多全日空ホテル)

卒業生シンポジウム 東日本大震災をテーマに！

参加費

正会員 7,000円
準会員 (在学生) 2,000円

「東日本大震災
～現地での支援とこれからの課題～
看護・保健・心理の立場から」

コーディネーター

- 尾形 由起子 教授
福岡県立大学附属研究所ヘルスプロモーション
実践研究センター長

シンポジスト

- 河村 真紀代 保健師
福岡県立看護専門学校保健婦科卒業、水巻町役場に勤務
- 中山 政弘 臨床心理士
福岡県立大学大学院研究科心理臨床専攻科修了、
国立病院機構肥前精神医療センターに勤務
- 野坂 亮輔 看護師
福岡県立大学看護学部卒業、仙台厚生病院に勤務

タイムスケジュール	
9:30～	受付
10:00～10:55	総会
11:00～12:20	シンポジウム
12:30～15:00	懇親会

* 小児科にタオル帽子を贈ろう *

総会にお越しの際、使わない新
タオルありましたら、お持ちくだ
さい。ご協力お願いいたします。
(会報11頁右上：「タオル帽子ポ
ランティア」参照)

託児あります。参加票にご記入ください。

別紙総会参加票を 8月10日までに ご送付下さい

総会当番期	
保母養成所	13・14期
社保短	1・2期
県大	4・5・14・15期
保健婦養成所	4期
公衆衛生看護学校	14期
県看 保助	4期
看護	4・14・24期
助産	7・8期
保健	4・14期

看護科4期生の皆様、お久しぶりです。昨年より石村みき子さんの後を引き継ぎ、幹事をさせていただきます。今回の同窓会総会は、私たち4期生が当番となっております。是非一人でも多く、出席くださるようお願いいたします。会費の納入率も減少傾向にあるようですので、ご協力お願いいたします。

県看 看護科 4期 幹事 石橋 久美子

※申込み後の出欠変更、8月17日（水）までに事務局へご連絡ください。

第23回同窓会総会報告は、同窓会のホームページに掲載しておりますのをご覧下さい。

総会当番期打ち合わせ

平成23年3月13日（日）に総会会場のANAクラウンプラザホテルへ当番期9名、事務局3名とで、会場の下見と打ち合わせに行ってきました。

新博多駅の開業後だったので、会場までスムーズに行くことが出来ました。博多駅の博多口を出て左に道なりに進み、代々木ゼミナールが見えたら、その向かいに会場のANAクラウンプラザホテルがあります。博多駅から徒歩7分程で到着するようです。

会場は3階に位置しています。総会の行われる部屋と懇親会のある部屋は隣り合わせになっていますので、移動がほとんどなく、スムーズに懇親会に移ることができそうです。

会場下見後、同ホテルで試食を兼ね昼食会を行い、意義ある話し合いが持たれました。

懇親会時の料理はテーブルごとに運んでもらうことになっていますので、ゆっくりおしゃべりしながら、お食事も楽しんでいただけますね！



要望書提出

平成23年5月31日 川上会長・野口副会長・同窓会事務局が大学理事長兼務の名和田学長と面談し、「保健師教育の充実に向けて（要望）」を提出いたしました。この取り組みは福岡県看護協会が県知事に対して保健師教育の大学院での養成課程を要望する取り組みを行っていることに呼応して、本同窓会が大学に対して要望を行っているものです。

平成22年2月3日要望書を提出し、平成22年5月26日の学長（理事長）・副理事長懇談会にて、進捗状況を大学より伺っています。

今年度の要望書提出に関しましては、学長（理事長）に卒業生の熱意をご理解いただき、県立大学の中長期計画に盛り込む予定である点、また四年制大学での保健師資格取得を公約に掲げていた前知事の交替があり可能性が開けている点などお話しいただきました。

※提出いたしました要望書については、同窓会サイトにて閲覧（PDF）できるようにいたします。



幹事会報告

○平成23年6月19日（日）、県立大学生協食堂にて同窓会幹事会が開催されました。

参加者：38名

保母養成所7名、社保短10名、県立大学9名
保健婦養成2名、公衛看2名、県立看護8名

内容

1、会長挨拶

川上鉄夫会長

2、報告事項

(1) 大学近況

- ・2010年度社会貢献・ボランティアセンター設立
- ・2012年度附属研究所棟完成予定
- ・MOW（世界記憶遺産）の報告

(2) 事務局報告

3、議題

(1) 会則の誤字訂正について

- ・会則より誤植が見つかった為、訂正したい。

第12条 出欠者×→出席者○

入学号には正しいものを配布しているが、卒業号と総会用には誤植したものを配布していた。

総会の報告事項としたい。

(2) 福岡県立大学への要望書提出について

- ・野口副会長より経過説明

学長もとても前向きに考えておられ、知事も変わったことで、進めやすくなったようだ。

(3) 東日本大震災義援金(支援金)募金事業について

【提案】今回は寄付ではなく、震災の義援金（支援金）を募る。

【結論】義援金または支援金のどちらにするかも含めて、役員で詳細を決定する。

(4) 入会金・会費規程

パートナー（夫婦）、ファミリー（親子、兄弟姉妹）、シニア（75歳以上）の年会費の減免について。

- ・同一世帯で、自己申告があったときのみ。
- ・シニアの場合、年齢確認できるものを添付してもらおうとの意見が役員会であった。

(5) 平成23年度同窓会総会開催について

- ・開催日、場所、当番期、参加費等の説明。
- ・シンポジウムの内容が変更したことについての説明と内容説明。
- ・シンポジウム終了後、「東日本大震災義援金」募金呼びかけ

(6) 同窓会会報23号発行について

- ・発行部数8,000部 発送対象者6,600部
- ・振込み用紙（年会費・義援金）や、総会参加表、20周年記念誌の案内、幹事名簿等を同封して送付する。

(7) 福岡県立大学20周年記念誌について

- ・県立大学が、今年20周年を迎えるにあたり、大学が、記念誌を発行する。会報に同封する総会の参加表の中で記念誌の購入希望を取ることにしています。総会会場や、メールで広報していく予定。

午後2時20分閉会

県立大にある 山本作兵衛日記・記録画が 日本初の世界記憶遺産へ

「今でも良い県立大学がさらに誇れるようになった」

人間社会学部長兼研究科長 森山沾一



1、ユネスコ記憶遺産に山本作兵衛コレクション
国連教育科学文化機関（ユネスコ）は山本作兵衛（1892・明治25～1984・昭和59年）の絵画や日記を、「メモリー・オブ・ザ・ワールド」（MOW）に登録したと発表しました。

日本の世界記憶遺産への登録は初めてのことです。これまでに、人権宣言（フランス）、ゲーテ直筆の日記・手紙（ドイツ）、アンネの日記（オランダ）など76か国193件が登録されていました。

老衰で亡くなる92歳まで筑豊炭坑の記録画や日記を描き続けた作兵衛さん。筑豊の炭鉱で働いた体験を基に「子や孫にヤマ（炭鉱）の生活や人情を伝えたい」と60歳をすぎて墨や水彩で描いたのです。

2002年の3月、「調査は終わったが、まだあるのでは」と、作兵衛さんの孫のファックスが保田井学長（当時）から私に届きました。解体寸前の棲家を同僚などと6度調査し、押入れの奥から、きちんと整理された日記・ノート類、原画、葬式参列者名簿、そして「最後の書」1編などを発見しました。

4月より学生やボランティアで山本作兵衛さんを〈読む〉会を結成、日記を毎週10年間読み深めてきました。今年10巻目が出ました。



2、日記類の発見・なぜ世界記憶遺産になったのか
申請・登録されたのは、遺族が田川市石炭・歴史博物館に寄贈、福岡県立大学に保管を委託した作品589点と日記・メモ類108点、合計697点です。

平成20, 21年度に地域貢献事業・内閣府『世界遺産をめざす田川活性化事業一産・官・民・学が協働する保養滞在型エコツーリズムの実現一』が採択されました。その中に作兵衛研究が入り、絵画の枚数確認（1038枚）を行ってきました。1000人以上のシンポジウムを行

う中で、国内外のユネスコ学術専門家がおとづれ、作兵衛さんの作品に注目が集まったのです。



3、県立大では最後の暮らしを展示・人間性や生涯学習を学ぶ

92歳で永眠する直前まで60年以上日記を綴ろうとした表現への執着は生涯学習のモデルであり、ユネスコが評価したのは当然のことでしょう。学校に行かないでも自力で漢字を体得し、障害者手帳を持ちつつもさ

わやかに生き抜いてきた歩みは、筑豊の豊かさ・やさしさの象徴です。

大震災後の東日本の人々、そして卒業生をも勇気づけることでしょう。県立大学は今年建設される附属研究所でこれらの世界遺産を保管・展示する予定です。

(写真提供：生涯福祉研究センター、
『世界遺産をめざす田川活性化事業報告書』より)

福岡県立大学附属研究所 社会貢献・ボランティア支援センターの取り組み

社会貢献・ボランティア支援センター
センター長 小松啓子

社会貢献・ボランティア支援センターは、福岡県立大学附属研究所内に第4番目のセンターとして2009年(平成21年)12月14日に発足しました。

本センターは、全学生を対象に実施したボランティア活動調査(2008年度実施)から、ボランティア経験者が約7割を占め、未経験者の約9割が活動の機会を希望しているという背景とボランティア活動の拠点が無い、活動時のスキル向上の機会が欲しいなどの学生ニーズを踏まえて設立されました。本センターはキャリアサポートセンターの南側という学生にとって利用しやすい立地条件と専門指導員の原口さんと團野さんの丁寧な対応により、毎日センターを訪れる学生が絶えません。平成23年度の本センターの学生登録数は6月の段階ですでに321名に達し、外部の福岡県内の登録団体件数も増え72件に達しています。

本センターに課せられている事業としては「学生ボランティア活動支援事業」「地域での学生による社会貢献支援事業」「学生による社会貢献に関する教育支援事業」「学生による社会貢献に関する研究・調査事業」を挙げることができます。これらの事業を大学教員および専門指導員からなる運営部会で取り組んでいます。

「学生ボランティア活動支援事業」としては、登録

団体からのボランティア活動依頼を受け、学生が不利益を被ることがないか否か運営部会で確認し、情報を学生に伝えるという役割を丁寧に実施しています。本センターを通してのボランティア活動の紹介は、学生に安心感を齎しているのではないかと考えています。

「地域での学生による社会貢献支援事業」としては、学生が得意とするスキルを活用して社会貢献支援を希望する活動の場の提供を行っています。「学生による社会貢献に関する教育支援事業」としては、正課教育として実施されている「社会貢献論・社会貢献論演習」の授業の支援や、就業力向上支援事業として本学が取り組んでいる事業の中の「プレ・インターンシップ」の窓口となって学生支援に取り組んでいます。

まだ、開設して2年目というセンターですが、本センターが設置された趣旨を基盤に、本学の先輩達が長年取組んできたボランティア精神を大切に、学生・地域・教職員の方々と知恵を出し合いながら、発展させていきたいと願っています。



退職された先生より

「ありがとうございました」

城井みづほ
(元人間社会学部社会福祉学科助手)

この度平成23年3月末日をもって退職致しました。昭和48年に福岡県社会保育短期大学に着任以来38年間を大過なく過ごすことができたのも、健康と人間関係に恵まれたおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。

ふり返ればあっという間の38年間でしたが、大学のありようの大きな変化に時の流れを痛感します。そんな中で、同窓会事務局には資料を提供していただいたり、お茶をごちそうになったりと大変お世話になりました。この場を借りて、皆さまに退職のご挨拶とお礼を申し上げます。

東日本大震災の影響もあり、これからの生き方について改めて考えているところですが、つい最近、バラの美しさに魅せられてガーデニングを始めました。今まで草花に気持ちを注ぐ余裕がなかったのですが、これからはゆったりと第二の人生を過ごして行きたいと思っています。



あらためて県大生気質を思う

平野泰朗
(元福岡県立大学人間社会学部教授)



昨年春、社会保育短大から数えて28年勤めた福岡県立大学を退職し、大阪の私立大学に移りました。

この大学は、学生間の学力差が大きく、しかも下位に位置する学生のほうが多いという特徴があります。そしてよく観察すると、学力の差のかなりの部分が、態度(学習態度や生活態度)の差から来るように思えます。例えば、学力の低い学生は、授業中の私語が多く、「この学習は、将来こういう場面に役に立つ」という説明にも全く耳を貸しません。要するに、先のことを考えず、目先のことで楽をしようとする傾向が強いのです。こういう学生を勉学に向かせるのは、結構、大変です。それでも段々慣れてきました。ただし、労力は、前よりずっとかかります。

こうした状況に直面すると、県大時代は学生に恵まれていたと、あらためて思います。多くの県大生は、真面目で素直です。こういう学生は、教育効果が高いのです。この学生気質が今後も続いていき、先生方の教育努力が続くなら、社会にどんな不況風が吹いても、県大生の未来は明るいと思います。

大学教員動向

〈退職された先生〉 平成22年度退任

西岡 健治教授(一般教育等)
甲斐 彰教授(人間形成学科)
城井 みづほ助手(社会福祉学科)
中條 雅美准教授(臨床看護学)
夏原 和美准教授(ヘルスプロモーション看護学)
石川 フカエ准教授()
渡辺 美加助手()
石橋 朝紀子特任教授(大学院 看護学)

〈新しく着任された先生〉 平成23年度着任

金 恩愛講師(一般教育等)
平林 恵美講師(社会福祉学科)
石田 智恵美准教授(基礎看護学系)
浅井 初助教(臨床看護学系)
三並 めぐる講師(ヘルスプロモーション看護学)
梶原 由紀子助手()
林 さやか助手()
石本 佐和子助教・専任教員
(看護実践教育センター)

20周年誌のご案内 県立大も今年で成人式!!

今年で福岡県立大学は創設20周年となります。その記念事業の一環として20周年記念誌を来年2月に刊行することになりました。卒業生の皆様にも、記念誌を手にとりいただき、県立大学20年の歩みを共に振り返る機会をもっていただけたらと考えています。そこで、20周年誌を希望される方は、会報に同封しております同窓会総会の参加表の下部、「20周年記念誌申込み」欄に、必要部数と送付先等を記入して返信ください。予約いただきました方に、同窓会事務局より、代金(送料・手数料を含む)



の振り込み先をお知らせいたします。発行・発送は来年2月予定となっています。20周年記念誌の詳細については、会報に同封しておりますチラシをご覧ください。



第20回秋興祭

2011.11/12～13

きせきを辿って～20回目のありがとう～

今年度の福岡県立大学秋興祭は11月12・13日を持ちまして、第20回を迎えることになりました！我々秋興祭実行委員一同、第20回という節目の年を迎えられたことを本当にうれしく思っています。そして、今年の秋興祭のテーマを“きせきを辿って～20回目のありがとう～”と決定しました。この「きせき」というのは、ありふれた日常生活を送ることができる奇跡、今年度の実行委員一同で20回目という節目を迎えられる奇跡、秋興祭が20年間を歩んできた軌跡、という三つの「きせき」の意味が含まれています。更には、この「きせき」は第1回秋興祭のメインテーマが“輝跡”であったことにも係っており、今までとこれからを大

事に繋いでいきたいという願いも込めてメインテーマに掲げました。サブテーマにおいては、先に述べた「きせき」に対する感謝の意、また、我々秋興祭実行委員会を支えてくださっている全ての皆様、そして来場して下さる全ての方々に対する感謝の意をストレートに表現したものにしたいと思い、“20回目のありがとう”と題することにしました。

このような思いを胸に、来場者の方々から楽しんでいただけるように今年の秋興祭も盛大に盛り上げていきたいと思っています！そのためには、日々の活動やそれに伴う努力の積み重ねを大事にし、励んでいく所存です。今年の秋興祭も楽しみにお待ちしております\(^o^)/

サークル紹介 ハンドポスト

こんにちは、手話サークル「ハンドポスト」です。私たちは、手話の啓発活動や聴覚障がい者の支援を行うサークルで、現在88名の部員が在籍しています。

基本的な活動としては、田川市の手話の会の聴覚障がいの方を外部講師としてお招きして、毎週火曜日の放課後に勉強会を行い、手話能力の向上を図っています。その他ボランティア活動として、本学の入学式、卒業式での手話通訳や、学園祭や施設等での手話コーラスの披露をしています。

去年は、本学の卒業生であり、ハンドポストの先輩でもある、歌手のfucchiEさんのイベントに参加させていただきました。八幡の



ショッピングモールで手話コーラス・手話通訳を行い、啓発活動をすることができました。

今年もたくさんの新入生が入り、みんな楽しく手話を学んでいます。今後は、個々の手話能力の向上はもちろんですが、聴覚障がい者についての理解をもっと深めていきたいです。そして、聴覚障がいに関連したボランティア活動にもっと参加していきたいと思っています。



23,640円となりました。(^O^)/

今年度も秋興祭にフリーマーケットを出店する予定にしています。

出品する品物を会員の方から募集します。

ご家庭に未使用の品物がございましたら、ご協力お願いいたします。衣類（キズ、汚れのないもの）、日用品（新品）、雑貨（新品）等を同窓会事務局までお送り下さい。よろしくお願致します。

懐かしの写真が並びました。



今年もやります！ 同窓会フリーマーケットin秋興祭

平成20年度には、秋興祭当日に、幹事会を開催し、平成21年には、「同窓会総会in秋興祭」をテーマに、同窓会総会を同時開催、県大同窓会ブースを設置し、写真展示を行い、在学生や地域の方々に、同窓会を知ってもらう機会としてきました。

平成22年11月13日、14日には、写真展示の他、二日間にわたるフリーマーケットを行ないました。

出品したものは、会員さんから寄付していただいたものがほとんどで、テントいっぱい並べることが出来ました。また、平成21年に引き続き、県看や社保短、県大の懐かしい写真をA4に引きのぼし、ラミネイト加工し、展示しました。

開始前からたくさんのお客さんがテントの中を覗いてくれて、大盛況でした。2日間の合計売上は

みんなのページ

準会員（在学生）・会員の皆様から寄せられたお便り、近況報告を掲載しています。そして、皆様の寄稿をお待ちしています。



茶島綾香さん作のイラスト

fucchiEの作品！同窓会室にも飾っています！

「最近感じること」

県大社会福祉学科4年 茶島綾香



4年生になって国家試験（社会福祉士と精神保健福祉士）の勉強、卒業論文、講義、就活、実習準備、ボランティアと、格段に忙しくなりました。夜も課題に復習に追われる毎日です。前日の疲れがなかなかとれず、寝不足です。最近の口癖は「ダルい」。

しかし、それと同時に友達とおしゃべりする時間が多くなりました。気軽におしゃべりしたり問題を考えあったり、今の不安を話し合ったりなど。友達と話している間は疲れていることも寝不足なことも忘れる事ができます。今は大変な毎日が続いていますが、こんな楽しい時間を過ごせるなら今の生活も悪くないかなあ・・・と思って過ごしています。

「夢を創るということ。」

県大社会福祉学科9期 瀧上卓司

福岡県立大学の同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

紫陽花が雨に濡れる風情やその香りに癒されつつ、元気に初夏を迎えられていること、「今という時間」を当たり前に過ごすことが許されていることに感謝しながら、日々の生活を謳歌させていただいています。

今回は活動の近況報告をとのことで原稿依頼をいただき、恐縮ながらも筆を執らせていただきました。日頃、文章を書く機会が少ないこともあり、何分文才のない自分が書く文章ゆえ、読みづらい箇所などあるかと思いますが、ご了承くださいね。

僕は、現在東京を拠点に置き、北は北海道から南は九州長崎までアーティスト活動を展開しながら日々を過ごしています。

活動の主となるのは、シンガーソングライターとしての音楽活動ですが、その他にも結婚式でのウェルカムボード制作やポストカード制作といったイラストレーターとしての活動、また手話歌を通じての学校でのワークショップの開催など、様々な分野で活動を展開させていただいています。

当初は、ただ「プロの歌手になりたい」という大きな枠での夢でしたが、自分の可能性をいかに生かして活動していくべきかと考えながら動いていたら、今のようなスタイルが確立されてきました。

よく「何が夢なの？」とか「何になりたいの？」と聞かれることがありますが、最近「フッチーになりたい。」と答えるようになりました。

どの表現も、フッチーというアーティストが届けていきたいメッセージが軸となり形になっていきます。僕自身、長岐にわたりうつ病を経験しました。その経験から、いかに自分の発信していく作品やステージが「人が泣いたり笑ったりできるようなきっかけ」になれるか

と日々模索してきたの今があります。だからこそ、表現する方法が何であれ、その目的が誰かの心に届きその力を発揮してくれたとき、フッチーとしての活動にその意義を見出せるのです。

ご縁を大切に、この数年間は活動してきましたが、有り難いことに北海道の道南に位置する松前町では、今年の春に「松前観光大使」として松前奉公を任命していただくこととなりました。また、鳥取ではインスタライブを通じて難聴者の方々との出会いを多くいただけたほか、鳥取をイメージしたイラスト額を鳥取市立図書館に寄贈させていただくことになりました。

現在は、手話歌を通じて「音を楽しむ音楽」という既存概念を超え「音をきっかけにその時間を共有できることを楽しむ音楽」を現在は創造しているところです。

音楽は文化です。この文化的バリアフリーがより浸透していくように、これからも全力で活動を展開していきたいと考えています。

シンガーソングライターとしてのみの活動ではなく、そこに手話歌が盛り込まれ、さらにはイラスト展の同時開催なども展開していますが、前例のない活動ゆえまだまだこれからが僕自身も楽しみです。どういった可能性が未来に広がっているのか、夢を大きく描きながら、その夢を形にしていくことで僕の活動を支持してくださる方々のお心に届けていきたいと強く思います。

「夢を創ること。」それが今の僕の生き甲斐であり、仕事です。

福岡県立大学卒業生として、これからも全力投球でアーティスト活動を展開していきます。

まだまだ微力な僕ではありますが、是非とも！同窓会生皆様からの応援、よろしくお願いたします！皆様のこれからの笑顔溢れる日々でありますように。そして、益々のご健勝とご多幸を祈念して、この近況報告を結ばさせていただきます。

「あつという間」

県大形成13期 前杉さやか

社会人になって4年目。月日が経つのはあつという間で、大学時代の自由気ままな生活がとても懐かしく感じます。幼稚園2年、保育園1年と結婚や引っ越しを機に職を転々としてきましたが、今は児童館で児童厚生員として働いています。遊びに来る子ども達は元気いっぱい!!小学生の女の子達からは『先生AKBに入ればいいのに〜』と何故か進められ…(笑)楽しい毎日を過ごしています!

会員プロフィール

上野良行教授の講演を聞いて

県看看護婦科5期 井本 邦子



卒業して34年目になりました。2度の育児休暇を取ったほかは元気に仕事しています。(腰痛を治療しながらですが…)

就職と同時に労働組合に入って、子供達が大きくなったので、県外への活動に参加できるようになりました。昨年9月、横浜で日本医労連共済の講演で県立大学教授の上野良行先生の『自分らしく輝くために』を聞かせて頂きました。大変わかりやすく、楽しい時間でした。「卒業生です!」と挨拶しましたが、先生から「短大の?」と尋ねられ、つい「ハイ」と年令をごまかしてしまいました。すいませんでした。こんな先生の話が聞ける学生さんがうらやましく思えました。と同時に私も誇らしくなりました。これからも活気ある大学になるようにと祈ります。

訃報

追悼：謹んでお悔やみ申し上げます。

公衛看 19期		
太田 明美	H21.5	逝去
保母養成所 3期		
萱野 アヤ子	H22.8	逝去
県大 13期		
濱田 法子	H23.3	逝去
社保短 1期		
岩野 佐栄子	H23.5	逝去
保母養成所 7期		
山下 光子	H23	逝去

*会報22号発行以降に届けられた訃報です。会報23号以前の慶弔情報は、同窓会のホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

「タオル帽子ボランティア」

お願いがあります!

タオル帽子ボランティア「エフロク」でタオルを集めています。ご家庭で眠っているタオルのご協力をお願いしたいのです。

九大病院の小児科に入院している子どもたちに、タオル帽子を届けたいと活動しているところですがタオルが不足気味です。一枚でも同総会総会の時に持ってきていただければ、とっても嬉しいです。

保母養成所 13期幹事 清水 紘子



※事務局より：同窓会総会の時に持ってきていただくだけではなく、事務局へ送付くだされば、まとめて清水さんへお届けいたします。一人でも多くの子どもたちに、喜んでもらいたいですね。

おめでとうございます!!

- 受賞
 - 合代 敦子 保母養成所5期 瑞宝双光章
- 結婚
 - 味窪 千久佐(萩森) 県大13期 平成22年11月
 - 静谷 綾佳(稲富) 県大14期 平成23年4月
 - 石本 光輝 県大2期 平成23年5月

★事務局より★

同窓会会員の慶弔に際し、同窓会より電報を送信しています。慶弔事項をFAX E-mailで同窓会事務局にご連絡ください。各期幹事に慶弔事項の問い合わせをしていますが、追加慶弔事項がありましたら、直接事務局までお知らせください。また、旧教職員(旧県看職員を含む)には、特別会員として慶弔に際して、電報送信をしています。恩師の慶弔事項についても、同窓会事務局へお知らせください。

振込め詐欺にご注意!

平成22年9月頃、「同窓会から…」と振込みをお願いするような電話がかかってきたと、同窓会事務局へ連絡が数件ありました。保母養成所の卒業生を中心に、電話がかかってきていたようです。同窓会から電話等で寄付をお願いすることはありませんので、お気をつけ下さい。今後、不審な電話等かかってくる場合がございますら、同窓会事務局へご連絡下さい。



同窓会活動への寄付金

平成21年度同窓会総会にて寄付金を募ることになり、会報22号でお知らせしましたところ、たくさんの方々から寄付金をいただきました。今後の同窓会活動に有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

P10	石橋 照子様	CP3	新二日市 弘美様
H11	香山 充子様	Y4	糸 静子様
Y9	眞野 征子様	TH9	平野 信子様
TF10	匿名希望	KW3	匿名希望

なお、本年度は東日本大震災に関する募金を実施することにいたしましたので、同窓会活動への寄付は募らないことといたします。

★使用済み切手、書き損じはがき

使用済み切手、書き損じはがきは、随時募集しております。同窓会に寄せられた使用済み切手は、



☆盲老人ホーム 聖明園後援会
☆FM福岡 ラジオ番組 モーニングジャム
(国際NGOジョイセフ切手はがき寄贈活動)
へ送付しています。

【ジョイセフ切手はがき寄贈活動について】

使用済み切手をコレクターに販売し、その販売益を世界中の母子保健、環境衛生に役立てるという活動です。詳細は、ジョイセフのホームページをご覧ください。<http://www.joicfp.or.jp/jp/profile/>
切手の切り取り方分類方法が、コレクター仕様になっていますので、ご協力いただきます折には、よろしく願いいたします。



切り取り方と分類方法

- 消印を切らないで台紙ごと切手のまわりを切り取ってください。(郵便局名や日付のある消印は収集家の対象にもなっています。)
- 日本の切手と外国の切手は分けて下さい。
- 切手は重量で取引されるため、切手の枚数を数える必要はありません。
- 未使用の切手と使用済み切手は分けて下さい。

なお、従来の「切手の刻みが取れないように周囲を5ミリ程度切り取った」使用済み切手の回収も続けて行っております。ご協力よろしく願いいたします。

★就職情報提供シート提出にご協力

日頃より、県大生向け実習情報や就職情報を同窓会にお寄せいただきありがとうございます。お知らせいただきました情報は大学内に就職情報(同窓会)として掲示しています。求人票を見て事務局へ問い合わせがあれば、就職担当の連絡先までつないでいます。

本会報に、就職情報提供シートを同封いたします。職場や関係機関での求人情報がありましたら、随時同窓会事務局まで送付くださいますよう、よろしく願いいたします。

★メールマガジン会員募集中★

○メールマガジン「福岡大同窓会情報」を月初めに、携帯やパソコンに配信しています。

【配信内容は】

- ①県立大学同窓会事業案内
- ②県立大学同窓会からの就職情報
- ③その他同窓会に寄せられる情報
- ④ブログやサイトの更新情報 などです。

【登録方法】

- ①下記のメールアドレスへ空メールを送信ください。
kendai-dosokai@kbf.biglobe.ne.jp
タイトル:「会員アドレス登録」と入力願います。
 - ②同窓会からのメールが届きますので、登録内容を入力して、返信して下さい。
 - ③登録完了です。翌月よりメールマガジンを配信します。
- ※登録の際には、PCからのメールを受信できるように設定を確認ください。
- ※登録のための空メール送信にはこちらのQRコードが使えます。 ⇒



福岡県立大学同窓会

〒825-8585

福岡県田川市伊田4395

福岡県立大学内 3号館1階 3108号

福岡県立大学同窓会事務局(月・水・金)

TEL(FAX共用) 0947-42-2777

E-mail:kendai-dosokai@kbf.biglobe.ne.jp

URL:<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kendai-dosokai/>

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kendai-dosokai/mobile/index.html> (携帯)

同窓会室日記 <http://23312459.at.webry.info/>

